

実践から考える EMC

～発生の仕組み・ツールを使ったアプローチ・対策のノウハウをお伝えします～

悩みの尽きない EMC 対策…本セミナーでは、パナソニック(株)プロダクト解析センター×星和電機(株)×(株)ノイズ研究所の3社が手を組みフィールドでのノイズトラブルから考察した評価方法の紹介、EMC 対策のアプローチ方法に焦点をあてた実践的な測定技術の紹介、さらに対策部品の観点から見た対策の考え方で” How To” コラボセミナーです。EMC 業務に携わって3年以上の方には必見のセミナーです。皆様のご参加御待ちしております！

開催日	2019年10月16日(水) 13:00～17:30(受付12時)
場所	新大阪ブリックビル (JR/地下鉄 新大阪駅 徒歩5分) 大阪市淀川区宮原1丁目6番1 新大阪ブリックビル3階
定員	50名 ※1社1部門1名様 (EMC経験3年以上の方)

セミナー概要

参加無料

第一部 13:10～14:50 株式会社ノイズ研究所 技術部 上席部長 石田武志氏

【国際規格の電源系ノイズ試験の目的とフィールドでのノイズトラブル】

電源線のノイズ耐性試験は、EFT/B、雷サージ、減衰振動波などサージ系の試験に加え、伝導性RFなどがあり、これらはそれぞれのフィールドで発生する代表的なノイズを模擬しており、ノイズの結合方法や試験環境なども目的に応じて定められている。一般的に殆どの電子機器はこれらの試験をクリアすることで十分な性能を発揮すると考えられているが、ごく稀にトラブルが発生することがある。これらのメカニズムの考察やその対策評価のアプローチを模索する。

第二部 15:00～16:00 パナソニック株式会社 プロダクト解析センター 政井茂雄氏

【可視化装置を活用したノイズ対策のアプローチ方法】

ノイズ対策を効果的に行うためのポイントは、一にも二にも可視化です。本セミナーでは、電磁界プローブの特徴や埋もれているノイズを見つける測定法など実践的な測定技術の紹介と、実際に暗室でNG時における可視化装置を活用したノイズ源特定までのアプローチの事例を紹介します。また有効な可視化装置の活用事例についても紹介致します。

- 1) ツールの特徴と測定技術
- 2) 可視化装置の活用事例紹介
- 3) パナソニック プロダクト解析センターの取り組み紹介

第三部 16:10～17:10 星和電機株式会社 佐野一弥氏

【プリコンプライアンス段階のノイズ対策手法】

プリコンプライアンス試験の段階では、最小限の仕様変更で即効性のある対策が求められる。

この段階における各種対策手法を、グランディング、シールドリング、フィルタリング、3つの視点から紹介する。

※会場のご利用は17:30までとなります

お申込みは裏面をご覧ください

お申込方法

●下記参加申込票に必要事項をご記入の上、FAX 又は E-mail にてお申込みください。

FAX : (06) 6337-2651 E-mail:osaka@noiseken.com

お申込について（必ずお読みください）

- 今回のセミナーは西日本エリアの方を優先とさせていただきます。
- 誠に勝手ながら、今回のセミナーは定員 50 名の為、1 社 1 部門 1 名迄とさせていただきます。
- 今回のセミナー参加については EMC 経験 3 年以上の方限定とさせていただきます。
- 会場には駐車スペースは御座いませんので、ご了承ください。

お問合せ先

株式会社ノイズ研究所 西日本営業所 担当：市原・辻本

[TEL:06-6380-0891](tel:06-6380-0891)

参加申込票（切取不要）

貴社名		
ご記入欄	ご部署	
	ご担当者名	
	電話番号	
	E-mail	

NoiseKen